

『歴史の重み』～『道を歩く 個性と多様性』～

2026年5月31日 羽田空港 → シアトル (Seattle) 空港に向かい、アメリカ ワシントン州に住む娘夫妻を Wife と訪問した。6月1日は、娘夫妻と子供3人と wife と7人でバンクーバー (Vancouver) を訪れた。筆者は2013年『新渡戸稲造(1862-1933)没80周年記念』として、新渡戸稲造が国際連盟事務次長を務めたスイスのジュネーブでの国際会議の後、バンクーバーを訪れる機会が与えられたものである。

新渡戸記念庭園(Nitobe Memorial Garden)は、ブリティッシュコロンビア大学(University of British Columbia : UBC)のキャンパス内にある植物園で、1933年ビクトリア(Victoria)で客死した新渡戸稲造を記念したものである。『International Pacifist(国際的な平和主義者) = 新渡戸稲造』を静思する時となった。Wifeが、小学校校長を務めたCAJ(クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン)の高校を卒業した息子は、カナダのバンクーバーにある1908年創立されたUBC大学に入学した。広大なキャンパスを在学中の息子に案内してもらい、キャンパス内にある新渡戸記念庭園を訪れたものである。

翌日(6月2日)は、バンクーバーから約1時間30分フェリーに乗り(画像)、ビクトリアの『ブッチャート・ガーデン (Butchart Gardens)』を訪れた(画像)。2004年に『ブッチャート・ガーデン (Butchart Gardens)』は、正式にカナダ国家史跡に指定され、美しい『日本庭園』もある! 『歴史の重みと、継続的な成長の秘訣』は、『深い専門性』と『高い常識性』の『懸け橋』で『新渡戸稲造』の原点ではなかろうか!

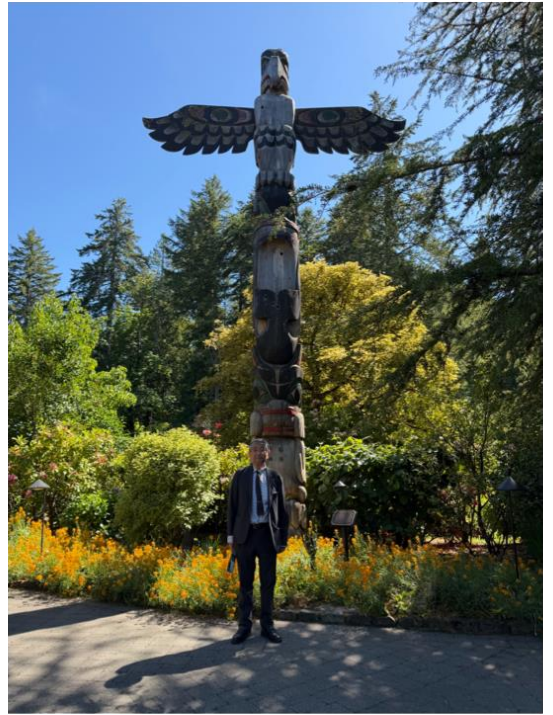
筆者は、2013年は、新渡戸稲造が亡くなったRoyal Jubilee病院にも訪問した。Royal Jubilee病院内には、『新渡戸稲造博士記念 日本庭園』がある! 【『バンクーバーにあるBritish Columbia大学(UBC)とビクトリアのRoyal Jubilee病院』の旅】は、人生の忘れ得ぬ良き思い出となったものである!

『道を歩く 個性と多様性の民族』を観ながら今回は、大変有意義な貴重な従実した【『シアトル (Seattle) & バンクーバー (Vancouver) & ビクトリア(Victoria)の旅』】となった。【『人がいかなる哲学を選ぶかは、彼がいかなる人間であるかに依存する。』】の再確認の日々である。



<https://ria.google.com/hair/0uQ/>

1/14K 5/



<https://ria.google.com/tra/0uQ/>

1/14K 5/

